

2022年2月10日  
一般社団法人セーフインターネット協会

## 誹謗中傷ホットライン 2021年の活動報告を公開 ～1年間で1,516名の被害者から2,800件以上の連絡が寄せられ、 半数近くの被害者が「書き込んだ相手の身元がわかっている」と回答～

一般社団法人セーフインターネット協会（会長：中山 明 以下、SIA）は、2020年6月29日に開設した「誹謗中傷ホットライン」の2021年（2021年1月1日～2021年12月31日）の活動報告を公開しました。主なポイントは下記の3点です。

- 1年間で1,516名の被害者から2,800件以上の連絡が寄せられる  
2021年間の連絡件数は2,859件で、人数は1,516名でした。内訳は、94%が本人からで、保護者は4.3%、学校関係者は1.6%でした。また、書き込んだ相手を認識しているかどうかについては、47.5%の被害者が「身元がわかっている」と回答しました。
- 特定誹謗中傷情報に該当するのは約3割  
特定誹謗中傷情報に該当すると判定した情報は2,859件の27.8%（796件）でした。非該当（2,063件）の主な理由としては、ハンドルネーム等で「実在の個人が特定できない」（28.5%）が最多でした。
- 削除率は約7割で、通知を送付したサイトの4割以上が「匿名掲示板」  
誹謗中傷情報として該当した796件について、削除等の対応を促す通知（以下、通知）を実施したURL数は1,414URLで、削除件数は1,046URL、削除率は74%でした。また、誹謗中傷情報が掲載されていたサイトは「匿名掲示板」やそのミラーサイトが多数を占めました。通知を送付したサイトの属性は「匿名掲示板」が45.8%、「SNS」は14.5%でした。

1年間を通じた削除率では7割以上と高い削除率を実現しました。半年毎に連絡件数と連絡人数を比較すると2020年6月～12月（1,237件/696人）、2021年1月～6月（1,393件/717人）、2021年7月～12月（1,466件/799人）と、だんだん件数は増加しています。

SIAは、今後もインターネット上の諸問題に総合的に取り組み、表現の自由と通信の秘密に配慮しつつ、中長期的な視座に立った施策を検討・実施してまいります。

● 誹謗中傷ホットラインについて

誹謗中傷ホットラインは、2020年6月29日に一般社団法人セーフアーインターネット協会（SIA）が開設した誹謗中傷被害者連絡窓口です。インターネット上で誹謗中傷被害を受けている個人の被害者から、誹謗中傷情報が掲載されたサイト情報等の連絡を受け付け、内容を確認した後、コンテンツ提供事業者やプロバイダ等に各社の利用規約に基づいた削除等を促す通知を送付します。下記サイトで受け付けておりますので、誹謗中傷被害にお困りの方はお気軽にご連絡ください。

<https://www.saferinternet.or.jp/bullying/>

● 一般社団法人セーフアーインターネット協会（SIA）について

一般社団法人セーフアーインターネット協会（SIA）は、より良いインターネット社会実現のために2013年に設立されました。民間の自主的取り組みとして「セーフライン」を2013年11月から、誹謗中傷ホットラインを2020年6月から開始し、現在2つのホットラインを運営しています。また、安心・安全利用のための教育事業やeコマースの健全な発展のための取り組み、偽情報対策等、総合的に、より安心・安全なインターネット社会の実現に貢献しています。

<http://www.saferinternet.or.jp>